

議会だより



6月定例会

- 2 消防団員の退職報償金を改定
- 4 一般質問 6議員が町政を質す^{ただ}
- 10 議会の新体制決まる
- 14 テレビアニメ「Free!」ファンの岩美町讃歌

悪天候の中がんばった子どもたち
第4回岩美キッズトライアスロン
全国大会(8月17日・大谷海岸)

消防団員の退職報償金を改定



駅前分団（東部地区消防ポンプ操法大会）

6月定例会を、6月10日から12日までの3日間の会期で開きました。今議会に提案された一般会計補正予算など、3議案はすべて原案どおり可決しました。

主な議案の概要

一般会計補正予算

〔概要〕

1613万円を増額して、予算総額を61億8313万円としました。

歳出の主なもの

非常備消防費

213万円増額

消防団員中途退団者2名分の退職報償金、および法改正による単価の引き上げに伴う増額。

庁舎等維持管理費

36万円増額

全国で増加しつつある庁舎内での犯罪に対し、来庁者および職員の安全を確保するため、非常通報装置を設置する。

訴訟委託料

10万円

税金の納付に対する不当利得返還請求事件が、原告の取り下げで終了したことによる成功報酬。

コミュニティ助成事業費
480万円増額

小田地区の屋外運動場の設備整備、塩谷集落の小型除雪機の購入費用を助成。

水産業振興費
1079万円増額
沖合底びき網漁業の存続のため、中古船の機器整備・漁具購入費用を助成。

観光施設管理運営費
210万円増額
田後地区日和山の遊歩道などを修繕する。

退職報償金支給額表

(単位：円)

区分	勤続年数					
	5年～10年	10年～15年	15年～20年	20年～25年	25年～30年	30年以上
団長	239,000	344,000	459,000	594,000	779,000	979,000
副団長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000
分団長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000
副分団長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000
部長・班長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000
団員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000

子育て支援の体制を充実せよ

竹中一浩議員

より一層のサービス向上に取り組み

榎本町長



竹中一浩議員

竹中 本年度、暮らしの便利帳を発行したが、町民からどのような意見が寄せられているのか。

町長 このたび町制60周年を記念して暮らしの便利帳を発行したが、また町民の皆さんからのご意見は、あまり寄せられていない。

竹中 便利帳の中で、子育て支援という項目もあるが、漏れや問題点はないか。

町長 子育て支援策は各課にまたがっており目

ではわかりにくい。
現在、各課から集約して、『岩美町版子育てハンドブック』というような形の冊子にまとめていくところだ。

竹中 子育て関連のサービスを受けやすくする方法として、※コンシェルジュを育成し、総合的に案内できる体制はとれないか。

町長 専門の職員を置くのは、規模的にむずかしいが、子育てを担当する職員のスキルアップと担当窓口の表示の仕方に工夫し、情報提供に取り組みたい。

竹中 町の子育て支援についてさまざまな広報がなされているが、ポス

ターを作成し、町内の企業に働いている方々に、岩美町をもっと知っていただいてはどうか。

※コンシェルジュ
客のさまざまな相談や要望に応える「よろず承り係」。



本年度発行した暮らしの便利帳（26年4月発行）

町長 企業へ積極的に働きかけて、しっかりとアピールできるようなポスターを検討したい。

竹中 子どもが病気になるなど緊急の場合、町が保護者に代わり受診や一

時預かりなどのサポートができないか。

町長 すでに乳幼児健康支援一時預かり事業、ファミリーサポート事業があるが、昨年の子育て

のアンケートをもとに支援の計画をしている。今後子育て中の皆さんをしっかりと支えられる社会の仕組みづくりを、県や事業主さんともに取り組んでいく。

領土が正確に配置された日本地図を整備すべき

竹中一浩議員

学校と話し合って検討したい

寺西教育長

竹中 町内の小中学校において、国土地理院発行の日本全土が、正確な位置に配置された地図の、配置状況はどうか。

教育長 日本地図は、各小学校に30枚、中学校に5枚だ。
ご指摘の地図は2点持っている。

竹中 日本の国土や位置を理解するためには、正確な地図を、日常的に見たり、学んだりする機会が大切だ。45の全クラス

分を購入して、貼り出してはどうか。

教育長 日本全土の地図については、本土をより大きく見せたいという趣向のものにつくられた地図が、圧倒的に多い。
日本の国土の形や位置を理解することは、教育目標の一つだ。
どのような地図が有効か、掲示のし方も含めて、学校と話し合って検討したい。

単独自立を選択した理由は

河下哲志議員

財政見通しと過疎化の不安などで判断

榎本町長



河下哲志議員

河下 単独自立を選択した理由は。

町長 合併推進協議会による財政見通しへの疑問、本町の文化や伝統を失うこと、周辺地域になって過疎化や高齢化が進むことが理由だ。

河下 真の自立とは何か。

町長 自信と誇りと文化を持つことだと理解している。

河下 12年経過しての反省、また、自立を選んで良かったか。



議会だより 100号記念特集号 (21年12月発行)

町長 単独自立を決定してからの施策については、おおむね実施できた。鳥取市と合併をした周辺の方々からは、合併を

しなくてよかったと聞いている。もう少し長いスパンで見えていただきたい。

今後の財政見通しはどうか

河下哲志議員

国の動向を見極めることが必要

榎本町長

河下 今後の本町の財政見通しはどうか。

画段階から、住民に關わっていただくことも、協働の第一歩だ。

町長 地方交付税はバブル期の総額に回復してきているが、今後については、見通せない状況がある。

協働でできることは、住民自身で取り組み、町は必要な支援を行う。この考え方を議場でも述べてきた。

自主財源である町税は、15年間で10億円以上から9億円台と落ち込んでいる。この水準を維持することを見込んでいる。

河下 協働のまちづくりがなぜ必要か。

町長 行政依存だけでは成り立たない。住民に負担をお願いすることも、協働のまちづくりという理念と考えるべきだ。

総合計画など町のさまざまな計画づくりに、計

道の駅の事業の遅れにどう立ち向かうのか
松井俊明議員

全力を傾注していく

榎本町長



松井俊明議員

松井 道の駅の進捗と、テナントの応募状況はどうか。

町長 水産物直売施設2区画のうち、1区画は民間会社が審査会を終えている。

小規模な漁業者、数量が少ないものを取り扱うことに心がけたことから、道の駅運営会社が、直営で1区画を取り組む。

松井 町が少しでも活性化するための、道の駅が目的だった。

予定どおりに進んでいないが、なぜか。

町長 設立協議会の結束力が十分でなかったことも含めて、町のリーダーシップ、情報収集能力が十分ではなかった。

松井 兵庫県新温泉町には、29年にオープン予定の道の駅が計画されているが、本町の道の駅に対する影響について、どのように考えているか。

町長 商圏も浜坂が入っており、全く影響がないとは言えない。道の駅の特色で勝っていくしかないと思う。

松井 公募で採用された駅長が、3月末で解雇された。

公募の時、13名が応募し面接して採用された。

面接して採用する時、見る眼がなかったのか。

町長 基本的に解雇ではない。採用時点で、3月

31日までの辞令となっている。

最大3年間で、設立協議会が法人化した際には身分も移っていくという

ことで出発をした。

松井 町内や鳥取市で道の駅の話をするが、「場所が良くない」と言っ

誰も賛同しない。

中央公民館などで公聴会を開いてはどうか。

町長 今の位置に反対という話は来ていない。

今の時点の情報は、町広報、インターネット、ホームページなど、いろいろな方法を講じていく。今後の行政懇談会でも、町内の皆さんに示していく。

松井 計画したものが思うように進んでいない。このまま事業を進めて、将来、道の駅が町のお荷物になったら誰の責任となるのか。

町長 どの時点をさしているのかわからないが、そうならないよう、一生懸命、全力を傾注している。

松井 一般財源で補填をするような状況は、ぜひ避けてほしい。

町長 赤字を望むものではない。極力避けたい。



道の駅整備室

若者が集う場・意見の言える場をつくれ

芝岡みどり議員

若者サロンを発展させる

榎本町長



芝岡みどり議員

芝岡 子育ての経済的支援として、保護者の教育に係る経済的負担の軽減を図るため、小・中学校の教材費を助成すべきではないか。

町長 義務教育の教材費などに助成をする自治体もある。

本町に、保護者、各家庭がどういった支援を望んでいるのかを、しっかりとつかみながら議論を深め、町の施策として取り組んでいきたい。

町長 婚活については、民間の取り組みを、県が助成をしていくようなやり方に変わりつつあると理解している。

婚活は、あらゆる形で続けていくべきだと考えている。

芝岡 若者が本町に定住するために、若者が集う場、若者の意見を言える場をつくるべきと考え、他人との対話を通して自分の考えを深めることのできる場の設置を求め

町長 義務的な集まりでは、後継者が確保できない状況だ。

趣味やスポーツという点では仲間づくりがされているという状況であると思う。

若者サロンを発展させ、ご提案の若者が集う場・意見が言える場につなげていきたいと思う。

芝岡 高齢者の健康寿命を延ばすために、高齢者

サークル活動の人数に合わせて支援額をふやしてはどうか。

町長 「お金をもらうことによって拘束を受けたくない。」また「額が少

ない。」などの意見はある。**※**定住対策プロジェクトチームの中で検証したり、よりよい仕組みにしていきたい。

芝岡 高齢者の住みなれた地域に、空き家を利用してコミュニティホームを開設してはどうか。

町長 既存の空き家であったり集会所などの改修についても、県と連携し高齢者の方々とよく相談していきたい。



活躍する若者たち（龍神太鼓）

※定住対策プロジェクト

- チーム
- 本町の人口減少に歯止めをかけるべく、定住対策事業の見直しと、新たな定住対策事業の提案を行う。
 - メンバー
 - 役場職員 12名
 - 地域おこし協力隊 4名
 - 鳥取環境大学生 5名
 - アドバイザー
 - 鳥取環境大学
 - 吉永教授・新名准教授

人口減少対策をどうするか

日出嶋香代子議員

プロジェクトチームで
検討を進めている
榎本町長



日出嶋香代子議員

日出嶋 本町にとって、人口の減少と少子化は、重大な問題である。対策をどうするか。

町長 プロジェクトチームを職員がみずから立ち上げ、進めてきている。定住対策をもう一度見直し、より効果があがる制度について、議論を深めたい。

日出嶋 9次総では、21年の目標人口1万2000人を維持するとあるが、どのような計画や対策を考えているか。

町長 総合計画の目標人口を示し、議会で何度も議論した。引き継いでいることを充実させ、施策をさらに積み上げたい。

日出嶋 地域の利便性を活かした情報発信の専門の課を、設置してはどうか。

町長 本町の規模からして困難だ。

日出嶋 人口減少問題は、女性の目から見ることも大切であると思う。

町長 プロジェクトチームは、地域おこし協力隊

員を含めた職員レベルで16人。女性の視点、男女

共同参画という点からも、男女8人ずつの構成である。

日出嶋 定住化を求めるためや人材を確保するため、創造性や独創性を

持ったIT企業やベンチャー企業の若者を、受け入れる政策も、大事ではないか。

町長 ITにたけた人に来てもらうのは難しい話だと思う。

移住定住について若者はごくまれで、定年退職後、自然豊かな地方で暮らしたいという人が圧倒的に多い。

日出嶋 古民家の魅力を活かした空き家の提供など、いろいろな組み合わせが必要ではないか。

町長 空き家については、制度を充実させ、リニューアルの経費助成制度なども持っている。今まで取り組んできている移住定住、宅地開発の支援など、一度やめた事業もあり、しっかりと検証したい。



定住対策プロジェクトチーム会議風景

ひとり暮らし高齢者に 生活支援せよ

田中克美議員

全国のモデルになるよう 取り組む

榎本町長



田中克美議員

田中 ひとり暮らしの高齢者が自宅で暮らし続けることができる体制を検討すべきだ。

ひとり暮らしの高齢者が、どれくらいいるか。となると見込んでいくか。

町長 10年後に老人高年齢者という分類に入る単身世帯は把握していない。

田中 高齢者になっていく人たちの、仕事、地域での活動、高齢者同士の結婚の問題も視野に入れた幅広い対応策を検討することが必要だ。

団塊の世代を中心に、

元気のエネルギーを發揮してもらおうということが大事だ。

町長 自主防災組織づくり、地域で支え合う仕組み、福祉計画で取り組みたい。福祉計画は27年からの計画を取りまとめている。地域で、自宅で暮らし続けていくことができるよう、全国のモデルになるよう取り組みたい。

田中 福祉、介護の枠にとどまらない取り組みが必要だ。仕事や地域活動にどう組み上げていくかも含め、主体になっていただくという視点で検討すべきだ。

町長 団塊の世代の方々の意見を伺い、また主体になってもらうことで町

での地域セーフティネットを目指して取り組む。

学校給食費に助成せよ

田中克美議員

多子世帯は検討したい

榎本町長

田中 学校給食費の半額助成に踏み出してはどうか。

教育長 教育を受ける権利は保障していかねばならない。学校給食法が定める保護者の負担は食材費である。光熱水費、人件費などは町が負担をしている。要保護、準要保護の方は、給食費を免除し、町費で負担している。

田中 食材費だから無償の対象から除外して負担してもらおうという考えか。

教育長 食材そのものも教材の一つという考えから、地産地消、その解説、栄養、マナーなど、食育としての教育活動の

一環と考えている。

田中 食材費は負担してもらおうという解釈であるが、食材を別個に分ける合理的な根拠はない。

公教育の無償化という憲法が規定している方向で国が動いていくように町として取り組んでいく姿勢が大事だ。

教育の町岩美として、憲法の趣旨、精神を現実のものにしていくために国の制度とすべきであり、町は学校給食費の助成の方向で努力するべきだ。

町長 貧困対策として、セーフティネットの中で要保護、準要保護、またそれに準ずる教材費の助成などもある。国でやるのが重要だ。

町も他自治体のとることについて、努力はしたい。特に多子世帯について、負担軽減を検討したい。教育委員会と相談する。



給食交流風景（岩美北小学校）

議会の構成決まる



7月29日に改選後初の臨時会を開会しました。
議長・副議長を選挙した後、2つの常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定しました。
また、議会だより調査特別委員会を設置し、9人の委員を選任しました。

就任挨拶



議長
船木 祥一

議員改選後の臨時会で、議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄と思い、改めて責任の重さを痛感すると同時に、新たな決意で職責を果たすべく研鑽を積んでまいります。

いま、人口減少社会の中で、地域主権改革が進み、世の中が大きく変化しようとしています。地方においては、厳しい決断と責任を問われ、覚悟を決めて諸課題に対応しなければならぬ状況も想定されます。

住民の代表機関として、町の意思決定にあずかる議会の使命、役割と責任は一段と重くなるのは必定であります。

岩美町議会が町民の負託に応えるために、町民の声にしっかりと耳を傾け、公正・公平を旨とした議会運営に努め、町民に信頼される議会づくりに邁進いたします。

町民各位のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



副議長
柳 正敏

議員改選後の臨時会におきまして、副議長の要職に就任をさせていただきました。

誠に光栄に存じ上げますと同時に、責務の重大さを痛感いたしております。

現在、大変厳しい社会経済情勢の中、地方の活力・活性への課題解決に向けた様々な施策の充実・実施は急務であり、岩美町の意思決定機関である議会の使命と役割は益々重要になってまいります。

皆様からの負託と期待に応えられるよう議会の更なる活性を図り、地域の諸課題に的確に対処し、住民福祉の向上と岩美町全体の活性化実現に向け全力で取り組んでまいります。

町民各位のご指導、ご鞭撻、ご協力を心よりお願い申し上げます。

委員会の構成

総務教育常任委員会



委員長 田中伸吾



副委員長 澤 治樹



委員 日出嶋 香代子



委員 杉村 宏



委員 寺垣 智章



委員 船木 祥一

議会運営委員会

委員長 芝岡 みどり

副委員長 川口 耕司

委員 澤 治樹

委員 寺垣 智章

産業福祉常任委員会



委員長 田中克美



副委員長 松井 俊明



委員 芝岡 みどり



委員 川口 耕司



委員 宮本 純一



委員 柳 正敏

議会だより調査特別委員会

委員長 田中克美

副委員長 芝岡 みどり

委員 日出嶋 香代子

委員 田中伸吾

委員 川口耕司

鳥取県東部広域 行政管理組合議会

組合議員 船木 祥一

組合議員 柳 正敏

鳥取県後期高齢者 医療広域連合議会

連合議員 芝岡 みどり

議会選出監査委員

澤 治樹

委員 宮本 純一

委員 杉村 宏

委員 寺垣 智章

委員 柳 正敏

委員長の抱負

総務教育常任委員長

田中伸吾

議会改選後の初議会におきまして、総務教育委員長の重責を拜命させて頂くこととなりました。

当常任委員会は、総務・企画財政・税務・商工観光課及び教育委員会を所管しており多くの重要案件がありますし、また本年は町制施行60周年、ジオパーク再認定など重要な年でもございます。

地域活性化の実現に向けた自治体の取り組み、役割は更に重要になってまいります。諸課題に対しスピード感のある対処・対応・検討をいたします。微力ではありますが委員会運営に全力で取り組み、町民の皆様の負託に応えられるよう全力で取り組んでまいります。

皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

産業福祉常任委員長

田中克美

前期議会につき産業福祉常任委員長を務めることになりました。

産業福祉常任委員会は、基幹産業である農漁業をはじめとする産業振興と町民の仕事確保から、医療・介護・子育てなど町民の福祉全般にいたる広範な分野を担当しています。

農漁業や中小商工業への支援策は後回しにし、医療・福祉・介護・子育ては制度改悪の計画が目白押しという国の施策のもとで、産業振興の分野でも社会保障の分野でも、議会が町民の立場にしっかりと立って、知恵と力を発揮することが求められます。

重要課題である「いわみ道の駅」のオープンに向けては、チェック機能にとどまらず、常任委員会として調査研究と行動にさらに努力しなければならぬと考えています。

また、常任委員会では、議員間の討議や執行部と議員との議論の充実、常任委員会として政策課題を研究するなど、我々の調査立案能力を高めることにも努力していきたいと考えています。ご支援よろしく願います。

議会運営委員長

芝岡みどり

この度の議会改選後の初議会において、議会運営委員長の重責を担わせていただくことになりました。

本町では、一般質問の録画放送を開始して4年が経過します。開かれた議会、身近な議会に近づけるため、尚一層の協議を重ね、取り組んでいきたいと考えています。

当委員会の機能や役割を最大限に活かしながら、議会運営の円滑化・効率化そして、当委員としての役割を踏まえた、住民の代表機関としての議会につなげていく様、しっかりと取り組んでまいります。

皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

議会だより調査特別委員長

田中克美

前期議会で1期目以来の編集メンバーとなり、編集への意欲と技術の向上に目を見張りました。同時に、他町村の議会だよりのレベルの高さに感心したところです。

しかし、地方議会のなかにおいてレベルの高さを抜いている町村議会の議会だよりのなかで、私たちの到達はまだまだというのが正直なところです。

他町村の議会だよりに学び、岩美町議会だよりの内容のいっそうの向上をめざしていきたいと思えます。

編集技術の向上とともに、何といっても報告すべき議会活動、議会論戦の充実が求められることは言うまでもありません。

中身も器も立派だと、町民のみならずから歓迎される議会だよりにしていくため、委員長としてできる努力を尽くしていきたいと思えます。

町民のみならず。議会だよりに忌憚のないご意見をお寄せください。よろしく願います。

初当選議員の抱負

寺垣 智章

今回の岩美町議会議員選挙では、地元の皆様からのご支援をはじめ、多くの町民の皆様のご厚情を賜り初当選させて頂きました。町民の皆様のご期待を受け止め、改めて責任の重大さを感じております。

私が愛する岩美町には、美しく、そして豊かな自然があります。その大変すばらしい環境を、これから岩美町を担っていく世代へ残していかなければならないという思いで、町政への参加を決意致しました。

岩美町で暮らせて良かった。岩美町で子育てできて良かったと思える町にしていけるように、全力で取り組んでいこうと思います。

私に期待をして下さった岩美町の皆様のためにも、これから岩美町を担っていく若い世代の皆様のためにも全力で頑張っていく覚悟であります。

まだまだ新人議員ではございますが岩美町のさらなる発展のために、日々努力してまいりますので、皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひします。

杉村 宏

私は、岩美町役場を本年3月に早期退職し、7月13日執行の一般選挙に挑戦させていただいて、街頭演説を61回行い、「風通しのよい議会や町行政の情報公開」「水産業等の振興、シオパーク等の活用」や私の政治姿勢について訴え、ご清聴と励ましのお言葉、そして多くのご支持を頂戴し当選させていただきました。

平成26年7月25日から平成30年7月24日までの任期を与えられた以上、選挙期間中に訴えたことを現実のものとしていかなければと、改めて身の引き締まる思いでございます。

議会構成を決める臨時議会と全員協議会に参加し、岩美町議会から町民の身近に、一層の情報発信を願ひ発言させていただきます。

今後、所属する委員会活動とともに、一般質問に重きを置く覚悟です。ご支持を頂戴した皆様のお力を、4年間の議員活動の源泉にさせていただきます。粘り強く努力していく所存でありますので、引き続きのご支援を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

宮本 純一

平成26年岩美町議会議員選挙におきましては、多くの町民の皆様にご厚情を賜り誠にありがとうございました。

選挙中は町民の皆様の声をとくさんお聞かせいただきました。そのご期待に応えるべく、身の引き締まる思いでございます。

「ごどもからお年寄りまで、豊かできらびやかな地域社会の実現」を目標にかかげ、これまでの経験と知識を生かし、住民福祉の向上と魅力ある岩美町づくりのために、取り組んでまいります。

少子高齢化という厳しい現状の中で、町制施行60年を迎え、地方分権が進み更なる地域の自立が求められております。

議会は、町の意思決定機関であり、議員は住民の代表として、町民の声を町政に届ける責任があります。

その使命と責任を重く受け止め、住民本位の行政となるよう、初心を忘れることなく一生懸命がんばります。

新人議員ではございますが、皆様のご指導にご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

川口 耕司

7月の岩美町議会議員選挙では、「公平・誠実そして実行」を基本姿勢に地元の皆様をはじめ、多くの町民の皆さまのご支援を賜り初当選させていただきました。町民皆さまのご期待を全身に受け止め責任の重大さを感じております。

これまで地域防災をはじめ、住民の健康対策、スポーツ振興など40年余りの貴重な行政経験を活かし、皆さまの意見を町政に届けると共に、地域と行政の橋渡し役として、岩美町発展のため、取り組んでいきます。

今後は、皆さまの信頼に答えるべく、ただ実践あるのみと決意を新たにしている次第です。第9次岩美町総合計画のスローガンに「人がつながり、心をつなぎ、未来につなげる岩美町」を未来の岩美町を担う子どもたちへとつなげるためにも、新人議員ではございますが、皆さまのご指導ご鞭撻を賜り一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひ致します。

テレビアニメ「Free!」ファンの岩美町讃歌

Free! 交流ノート（観光会館に設置）には本町の感想が多く書かれています。その一部を紹介します。

***大阪から来ました。**昨日1日かけて自転車で岩美を激走しました。フリードにハチが入ってきて怖かったのも良い思い出です。途中で仲間さんにもお会いできて嬉しかったです。また夏に来ますね。

***東京から3度目の上陸です。**今日は天気も良くて良かったです。明日は遊覧船に乗りたいと思っています。イカがおいしい。次は7月に上陸予定です。

***東京から来ました。**昨日は北栄でコナン巡りして今日は岩美でFree! 巡礼しました。巡礼もとっても楽しかったです。漁港のおばちゃんがか干しているイカを焼いてくれてとってもおいしかったです。鳥取良いところ。岩美町とおおっても良い所。海もキレイ。また来ます。



***世界ジオパークに昨年ようやく加入した隠岐から来ました。**ジオパークの先輩である岩美町、とっても素敵な所でした。これからもこの素敵な町が輝いていきますように。

***静岡から来ました。**人もお料理も最高でした。Free! がキッカケで岩美町を知ることができ、本当に良かったと思います。

***新潟から来ました。**ここまで来るまでが聖地巡礼楽しい。素敵な町を

もっと盛り上げてくださいます。

***大阪から友達と2人来ました。**全部、徒歩でがんばりました。景色キレイで町の方、親切で（車2回乗せてもらいました）本当に感謝です。ありがとうございました。

***岐阜から来ました。**住民の方がすごく優しくてうれしかったです。ありがとうございました。マインホールとお墓と夜の風景を案内していただきました。とても親切にしてもらえて、雨の岩美町もたのしい思い出になりました。

***Free!の空気感を生で感じてく遊びにきました。**きれいな景色に、おいしい海の幸に、岩美のみなさんの優しい心づかいにいつぱい嬉しい感動しました。想像して

いたよりずっとステキな町、楽しかったです。海に入れる時にまた来たいな。ありがとうございました。

***横浜からレイヤー3人来ました。**本当に町でコスプレしていいのとか、宿で着替えていいのとか、不安ばかりでしたが、いざ来てみたら、こんな姿してるのに声をかけてくださったり、また来てねと言ってくれたり、とても温かくて、楽しかったです。海がとてきれいで、魚もおいしくて、最高のGWでした。



***岡山から女2人旅です。**岩美町をレンタサイクルでまわりました。迷子になっても、町の方が親切に教えてくれてとても助かりました。すてきな町です。ありがとうございました。

***大愛お世話になりました。**町の皆様が総出と言わんばかりのあたたかい受け入れで感激しました。あいさつ、立ち止まっているとアドバイスを下さったり、ワンポイントガイドをいただいたり、単にロケ地というだけでなく岩美町の方々がとても大好きになりました。またぜひ今度は力二の季節でも絶対来たいです。岩美町全ての方に感謝感謝感謝です。

***千葉から来ました。**とにかく海のキレイさにびっくりしました。地元の方ともお話ししてとても充実した岩美巡りでした。次は岩美でお泊りたいです。

編集後記

改選後の新しいメンバーによる、初めての議会だよりの編集作業となりました。

新人議員は全員が、一般質問のまとめを担当しました。見聞きしていない6月議会の、議員と執行部のやり取りを、1ページにまとめることは、なかなか大変です。

原稿作成は1人ひとりの責任ですが、編集作業はチームの責任です。

今号をスタートに、研鑽を積み、読んでいただける議会だよりにしていきたいと思えます。

議会だより調査特別委員会委員

議長	船木 祥一
副議長	柳 正敏
委員長	田中 克美
副委員長	芝岡みどり
委員	日出嶋香代子
委員	田中 伸吾
委員	川口 耕司
委員	宮本 純一
委員	杉村 智章
委員	寺垣 智章